



マラソン 3km 「岩手県」(選手)

たかはし のりこ

高橋 紀子さん

62歳

● 参加歴：1回目

3年ぶりの開催で、夢のスタートラインへ！

60歳の還暦になったらねんりんピックに参加する！

30代よりマスターズ陸上を楽しんできた私は、かねてより参加した方々より大会の規模の大きさ、素晴らしさについて伺っており、当然のように自分もその舞台に参加できると思っていました。しかし2020年、念願の60歳になったその年、突然に新型コロナウイルスが発生し、生活は何もかも一変。色々なことが自粛され、ねんりんピック岐阜2020は延期、ねんりんピック岐阜2021に至っては中止の事態に……。

そして迎えた2022年、様々な感染対策を取った上で3年ぶりに「ねんりんピックかながわ2022」が開催され、私は62歳で参加することができました。

横浜アリーナで開催された華やかな総合開会式。観覧席からの参加となりましたが、岩手県選手団としてお揃いのユニフォームで誇らしい気持ちで臨み、私達の世代に合わせ創意工夫を凝らした内容に感嘆し、翌日からの競技に心躍りました。

大会当日は晴天。マラソンは足柄郡山北町丹澤湖畔の特設コースで3km、5km、10kmの3種目が行われ、私は3kmに参加しました。丹澤湖畔は美しい紅葉の名残を留め、全国の皆さんと同じスタートラインに立てる喜び、競技できる幸せをかみしめながらスタート。しかしコースはアップダウンが激しく、岩手では

平坦なところをジョキングしかしてこなかったため、どんどんキツくなってきました。そんな時、後半の登りで元気に腕を振って走る年配の男性の姿が目に入り「やるなあ！私も頑張ろう!!」と並走、「ハアハア！ハッハッ!!」と二人の息づかいがお互いを刺激します。「年配の方に負けられん!」、向こうも「女には負けられん!」と思っていた……かどうかはわかりませんが二人の並走はゴール迄続きました。最後はお互い必死に腕を振りラストスパート!

結果は70歳未満部門2位。レース後その方から「あなたのおかげで70歳以上で8位入賞できたよ」と笑顔で言われ、嬉しさ倍増♪岩手から参加した他のマラソンメンバーも各種目で優勝、入賞を果たし喜びを分かち合いました。本大会では多くの方と笑顔溢れる時間を過ごすことができ、特別な思い出となりました。

まだまだ新型コロナウイルス感染症流行の終息が見えませんが、これからも多くの方が健康でそれぞれの夢に向かって「生涯青春」を目指し、競技を続けていきますよう願っています。

いきいき岩手支援財団はじめ大会関係者の皆様、夢の時間をありがとうございました。



岩手県の選手団の皆さん。(左から3番目)



表彰式でメダルを手に。(左)